

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2026年6月19日

事業所名：放課後等デイサービス HIYOKO SPORTS長町南教室

対象人数(保護者)33人 回答者数 14人 回収 42.4%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1				事業所としても、運動活動を行う際には十分なスペースの確保が課題であると感じております。 限られた空間の中でも安全に活動できるよう活動内容や人数配置を工夫しておりますが、今後もお子様が安心して伸び伸びと活動できる環境づくりに努めてまいります。
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	5	1	1	足りていないように思う。いつも慌ただしくしている感じがする。	職員配置についてご心配をおかけし申し訳ございません。現状の体制の中で安全に配慮しながら支援を行っておりますが、慌ただしさを感じさせてしまう場面があったと認識しております。今後は業務の見直しや役割分担の整理を行い、より落ち着いた環境で支援が提供できるよう努めてまいります。 また、人員配置につきましては、4月より職員数が増え改善されてきております。今後も必要に応じて本部と連携しながら検討してまいります。
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1				バリアフリー構造によりより安全性に配慮した生活空間を整備しています。また、室内の掲示物や家具・備品は必要最低限にとどめ、視覚的刺激を抑えた落ち着いた環境づくりに努めています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1				清潔で快適に過ごせる環境を維持するために、日々の清掃・消毒・換気を徹底し、あわせて室内の温度・湿度管理にも配慮しております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援 が受けられていると思 いますか。	14					
	⑥	事業所が公表している 支援プログラム(※2) は、事業所の提供する 支援内容と合っている と思いますか。	14					
	⑦	こどものことを十分理 解し、こどもと保護者の ニーズや課題が客観的 に分析された上で、放 課後等デイサービス計画 (個別支援計画)(※3) が作成されていると思 いますか。	14					
	⑧	放課後等デイサービス 計画には、放課後等デ イサービスガイドライン の「放課後等デイサー ビスの提供すべき支援」 の「本人支援」、「家 族支援」、「移行支 援」で示す支援内容 からこどもの支援に 必要な項目が適切 に設定され、その上 で、具体的な支援内 容が設定されている と思いますか。	12			2		支援内容やその根拠について十分にお 伝えできていなかったと受け止めており ます。今後は個別支援計画の説明や 日々の連絡を通じて、支援内容や意図 がより分かりやすく伝わるよう工夫し、保 護者の皆様にご理解いただけるよう努 めてまいります。
	⑨	放課後等デイサービス 計画に沿った支援が行 われていると思いま すか。	14					
	⑩	事業所の活動プログラム (※4)が固定化されな いよう工夫されている と思いますか。	9	3		2	外出する、お店に行く、レクリエーション なども増えると有難いと感じる。	運動活動は週ごとに内容を変えており ますが、定期的に新しい内容を取り入れ ながら、お子様たちがより楽しく活動に 参加できるように努めてまいります。 レクリエーションにつきましては、職員 の人数が充足してまいりましたので、土 曜日・祝日・長期休みの際に計画し、ご 案内できるようにしてまいります。
	⑪	放課後児童クラブや児 童館との交流や、地域 の他のこどもと活動す る機会がありますか。	1		6	7		地域の行事に参加する機会を設けるこ とはできておりませんでした。 土曜日や休日に近隣の公園に外出した 際に、公園に遊びに来ている地域のお 子様たちと一緒に遊具遊びを楽しんだり 、遊具の順番を待つ・譲り合うなどの 体験ができております。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1				契約時に十分にご理解いただけるように努めてまいります。
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	2	6		他事業所でのペアトレのご案内は行っておりましたが、当事業所での開催につきましても、本部と連携を取りながら検討していきたいと思っております。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1			知っている職員の方とは共通理解できているかもしれないが、他事業所からお手伝いで来る先生とは共通理解は難しい。	3月末まで当事業所では、職員配置の都合により他事業所からの応援職員が入る日が多くあり、お子様・保護者様にはご不安やご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。今後は、支援内容や対応方法について職員間での情報共有をより丁寧に行い、応援職員も含め、どの職員が対応しても共通理解のもと安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12			2		個別支援計画のモニタリング時期(8~9月、2~3月)に面談を行っております。また、個別にご相談を受けた場合、都度対応をしております。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	5	8		保護者交流会やきょうだい児向けのイベント開催について、十分な機会を設けることができておらず、申し訳ございませんでした。昨年度は事業所運営体制の調整を優先する状況が続いておりましたが、今後は保護者様同士の交流や、きょうだい児の皆様にも安心して参加いただける機会を少しずつ増やしていけるよう検討してまいります。
	⑲ こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1		4		ご相談や申し入れに対する対応体制について、十分に伝わっていない部分があったと受け止めております。今後は、保護者様やお子様様が安心して相談できるよう、連絡方法や相談窓口についてより分かりやすくお伝えするとともに、頂いたご相談には迅速かつ丁寧に対応できるよう努めてまいります。
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1				お子様や保護者様との意思疎通や情報共有について、十分に伝わっていない部分があったと受け止めております。今後は、HUGのサービス提供記録や送迎時のやり取り、面談等を通して、より分かりやすく丁寧な情報共有を心がけ、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13			1		定期的にブログ、HUG、ホームページでお知らせをしております。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14						

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			6		各マニュアルにつきまして、十分な周知・説明ができておりませんでした。今後は、各種マニュアルの内容や対応体制について、契約時やお便り等を通して分かりやすくお伝えし、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		7		昨年度は、避難訓練を毎月実施することができませんでした。今後は毎月計画的に実施できるように努めてまいります。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	9			5		安全計画について、十分な周知・説明ができておりませんでした。今後は契約時やお便りなどを通して分かりやすくお伝えし、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思えますか。	12			2		事故等が発生した際の連絡体制や説明について、十分に周知できていなかった部分があったと受け止めております。今後は、事故やけが等が発生した際には、状況説明や対応内容について速やかかつ丁寧にお伝えできるよう、保護者様への連絡体制の周知と職員間での対応共有を徹底してまいります。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	13		1			お子様が安心して通所できていないと感じられる結果を真摯に受け止めています。今後は、お子様一人ひとりの気持ちや状況に寄り添いながら、安心して過ごせる環境づくりや関わりをより丁寧に行い、保護者様とも情報共有を行いながら安心感につながる支援に努めてまいります。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			楽しみな日とそうでない日がある	その日の体調や気持ち、活動内容等によって通所への思いが変化することもあると受け止めております。今後もお子様一人ひとりの興味や気持ちに寄り添いながら、「行きたい」「楽しい」と感じられる活動や環境づくりに努めてまいります。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	13	1				事業所の支援について、十分な満足に繋がっていない部分があったと受け止めております。今後はお子様や保護者様のお気持ちやご要望を丁寧に伺いながら、より安心してご利用いただける支援内容や環境づくりに努めてまいります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。